

事前評価チェックシート

計画の名称： 阿蔵山工業用地へのアクセス道路整備事業

事前評価	チェック欄
<p>I. 目標の妥当性 上位計画との整合性：上位計画の政策目的と整合している。 浜松市総合計画の『コンパクトでメリハリの効いたまちづくり』及び浜松市のみちづくり計画の『拠点間を移動しやすいまちづくり』を実現するため、本計画に記載の事業により、拠点間を連携する道路ネットワーク構築を図る。</p>	○
<p>I. 目標の妥当性 上位計画との整合性：上位計画の政策目的と整合している。 阿蔵山地区は、浜松市都市計画マスタープランにおいて新たな産業活力の創出等を図る「土地利用転換計画地区」に位置付けられており、本地区の立地性を最大限活かすため、本計画に記載の事業により、交通結節点とのアクセス強化を図る。</p>	○
<p>I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 浜北区から天竜区中心部への主要なネットワーク（（主）掛川天竜線、国道152号等）において、朝夕の通勤時間帯において慢性的な渋滞が発生しているとともに、昨今の激甚化・頻発化する豪雨災害から、北遠地区へのネットワークの代替性・多重性が課題となっている。</p>	○
<p>I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 開発予定の阿蔵山工業用地は「ものづくり都市」として更なる企業誘致を図るためアクセス性の向上が必要である。これらの課題に対し、災害時の緊急輸送路としての代替機能や地域の渋滞緩和を図る観点から、浜北区から天竜区船明までの将来的な広域NW化を見据えつつ、まずは工業用地へのアクセス道路として事業化するものである。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 天竜区における地域産業の活性化及び雇用の創出を目指す上で、阿蔵山工業用地のアクセス性向上を図る観点から、交通結節点である浜松浜北ICまでの走行時間短縮を示す指標を設定しており、目標と指標は整合している。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 指標の現況値は、現地走行による阿蔵山工業用地から浜松浜北ICへの走行時間を設定しており、事業完了後は交通実態調査により短縮率を示すことが可能。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 事業箇所は、浜松浜北ICと阿蔵山工業用地を結ぶ（国）152号浜北天竜バイパスの未整備区間（L=0.54km）であり、当事業の実施により、阿蔵山工業用地のアクセス性の向上が期待されるため、目標と事業内容は整合している。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 阿蔵山工業用地から浜松浜北ICまでのアクセス性向上により、企業誘致の促進、物流の効率化及び雇用の創出など、多面的な効果が見込める。</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 道路計画及び開発計画については、地域の住民に対し説明会を実施しており、合意を得ている。また、工業用地の供用に向けて、関係部局においては開発基本構想の策定に着手し、今後、必要な都市計画手続きを実施した後、造成工事に着手する予定であり、事業実施の確実性は高い。</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 地元の機運 旧天竜市において計画された阿蔵山開発については、地域において開発部会が設立されるなど、企業誘致の促進、物流の効率化及び雇用の創出など、地域活性化の起爆剤となる当事業に大きな期待が寄せられている。</p>	○